

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年2月12日
【四半期会計期間】	第120期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	サカイオーベックス株式会社
【英訳名】	SAKAI OVEX CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松木 伸太郎
【本店の所在の場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【最寄りの連絡場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第119期 第3四半期連結 累計期間	第120期 第3四半期連結 累計期間	第119期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	16,372,401	15,890,590	21,679,208
経常利益(千円)	1,297,788	1,473,039	1,556,880
四半期(当期)純利益(千円)	1,165,226	746,619	1,395,322
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	987,522	803,830	1,412,029
純資産額(千円)	8,510,690	9,609,383	8,934,950
総資産額(千円)	19,692,508	20,028,595	19,891,420
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	18.05	11.57	21.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	43.0	47.8	44.7

回次	第119期 第3四半期連結 会計期間	第120期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.55	1.09

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要を背景に緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、長引く欧州債務問題に加え、海外経済の減速、円高基調の継続、日中関係の悪化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループの業況は、繊維販売事業は増収となったものの、市況の低迷を受け染色加工事業、その他の事業は減収となり、売上高は、前年同期を下回りました。一方、営業利益、経常利益は、繊維販売事業の利益改善に加え、原価低減や全社的な固定費削減活動の継続により増益となったものの、四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損の計上などにより前年同期を下回る結果となりました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は15,890百万円と前年同期比481百万円（2.9%）の減収となり、営業利益は1,198百万円と前年同期比68百万円（6.0%）の増益、経常利益は1,473百万円と前年同期比175百万円（13.5%）の増益、四半期純利益は746百万円と前年同期比418百万円（35.9%）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

（染色加工事業）

当事業では、医療介護資材用途は引き続き堅調に推移しましたが、婦人衣料用途、スポーツ用途及びユニフォーム用途等が減少となり、事業全体では減収となりました。利益面では、工場稼働の効率化、生産ロスの削減等に取り組み、原価率の圧縮に努めたものの、減益となりました。

当事業の売上高は9,110百万円と前年同期比271百万円（2.9%）の減収となり、営業利益は564百万円と前年同期比17百万円（3.1%）の減益となりました。

（繊維販売事業）

当事業では、テキスタイルはユニフォーム用途が増加し、医療介護資材用途も引き続き堅調に推移しました。また、アパレルは、テキスタイル営業との連携による拡販、新規商流の開拓に注力しました。一方、営業活動を開始した酒伊貿易（上海）有限公司は、中国における縫製品等の販路拡大に向け、新規ビジネスの構築作りに取り組みました。

当事業の売上高は4,387百万円と前年同期比299百万円（7.3%）の増収となり、営業利益は473百万円と前年同期比98百万円（26.2%）の増益となりました。

（その他の事業）

その他の事業のうち、電子機器事業は、F A制御関連、自動制御装置関連が引き続き堅調に推移しました。また、水産資材事業では沖縄県を中心とした中層浮漁礁の拡販に努めました。

一方、建設不動産事業は、建築需要の低迷による大型物件の減少、織布事業は、高密度織物などの市況環境の悪化を受け、いずれも厳しい業況となりました。

その他の事業の売上高は2,392百万円と前年同期比509百万円（17.6%）の大幅な減収となり、営業利益は140百万円と前年同期比26百万円（16.0%）の減益となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、622百万円です。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	224,000,000
計	224,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,362,587	68,362,587	(株)東京証券取引所 (第一部)	単元株式数 1,000株
計	68,362,587	68,362,587	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	68,362	-	4,655,044	-	1,536,986

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,827,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,360,000	64,360	-
単元未満株式	普通株式 175,587	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	68,362,587	-	-
総株主の議決権	-	64,360	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれています。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれています。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サカイオーベックス株式会社	福井市花堂中二丁目15番1号	3,827,000	-	3,827,000	5.60
計	-	3,827,000	-	3,827,000	5.60

(注)1.上記の他、株主名簿上は当社名義となっていますが、実質的に所有していない株式が2,000株(議決権の数2個)あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれています。

2.当第3四半期会計期間末の自己株式数は3,828千株です。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりです。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	テキスタイル営業 部門長兼大阪営業 所長	取締役	テキスタイル営業 部門長兼大阪営業 所長	土田 雅幹	平成24年10月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,230,842	1,370,688
受取手形及び売掛金	3,837,702	3,959,557
有価証券	999	999
商品及び製品	659,564	735,036
仕掛品	424,243	447,851
原材料及び貯蔵品	289,977	250,984
その他	1,385,393	1,378,972
貸倒引当金	32,111	33,999
流動資産合計	7,796,610	8,110,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,153,638	3,071,448
機械装置及び運搬具(純額)	1,629,816	1,466,636
土地	2,653,076	2,653,076
リース資産(純額)	120,801	108,297
建設仮勘定	11,130	29,928
その他(純額)	59,619	56,771
有形固定資産合計	7,628,082	7,386,158
無形固定資産		
その他	61,668	60,537
無形固定資産合計	61,668	60,537
投資その他の資産		
出資金	2,197,500	2,428,816
その他	2,208,570	2,044,058
貸倒引当金	1,012	1,068
投資その他の資産合計	4,405,058	4,471,806
固定資産合計	12,094,809	11,918,503
資産合計	19,891,420	20,028,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,203,289	2,966,279
短期借入金	2,069,087	2,025,486
未払法人税等	250,941	230,711
賞与引当金	483,772	251,670
その他	764,332	725,073
流動負債合計	6,771,423	6,199,220
固定負債		
長期借入金	3,028,468	3,042,022
退職給付引当金	600,891	627,691
その他の引当金	6,580	6,580
資産除去債務	102,135	104,547
その他	446,972	439,150
固定負債合計	4,185,046	4,219,991
負債合計	10,956,469	10,419,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	3,142,924	3,760,471
自己株式	796,452	796,776
株主資本合計	9,038,879	9,656,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,579	156,791
繰延ヘッジ損益	30	7,797
為替換算調整勘定	223,682	248,369
その他の包括利益累計額合計	141,072	83,780
少数株主持分	37,143	37,061
純資産合計	8,934,950	9,609,383
負債純資産合計	19,891,420	20,028,595

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	16,372,401	15,890,590
売上原価	13,634,640	13,126,336
売上総利益	2,737,760	2,764,254
販売費及び一般管理費	1,607,181	1,565,390
営業利益	1,130,578	1,198,864
営業外収益		
受取利息	2,979	1,530
受取配当金	28,496	32,731
負ののれん償却額	284	-
持分法による投資利益	165,919	255,370
その他	60,839	64,161
営業外収益合計	258,518	353,793
営業外費用		
支払利息	77,742	67,413
その他	13,565	12,204
営業外費用合計	91,308	79,617
経常利益	1,297,788	1,473,039
特別利益		
固定資産売却益	2,663	4,416
助成金収入	8,605	13,949
補助金収入	163,333	-
その他	1,539	-
特別利益合計	176,141	18,366
特別損失		
固定資産除却損	11,730	3,485
固定資産圧縮損	162,421	-
投資有価証券評価損	-	215,677
その他	6,184	-
特別損失合計	180,336	219,162
税金等調整前四半期純利益	1,293,594	1,272,243
法人税、住民税及び事業税	115,855	428,204
法人税等調整額	12,736	97,498
法人税等合計	128,592	525,702
少数株主損益調整前四半期純利益	1,165,001	746,540
少数株主損失 ()	224	79
四半期純利益	1,165,226	746,619

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,165,001	746,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115,201	74,209
繰延ヘッジ損益	199	7,767
為替換算調整勘定	-	632
持分法適用会社に対する持分相当額	62,078	24,054
その他の包括利益合計	177,479	57,289
四半期包括利益	987,522	803,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	987,772	803,912
少数株主に係る四半期包括利益	250	82

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	68,224千円	41,704千円
支払手形	79,639	100,042

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る減価償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	650,854千円	533,686千円
負ののれんの償却額	284	-

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	129,073	2	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,381,996	4,087,924	13,469,920	2,902,480	16,372,401	-	16,372,401
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,706	13,026	19,732	561,797	581,529	581,529	-
計	9,388,702	4,100,950	13,489,652	3,464,278	16,953,930	581,529	16,372,401
セグメント利益	582,171	374,889	957,061	167,184	1,124,245	6,332	1,130,578

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額6,332千円は、セグメント間取引消去4,316千円、各報告セグメントに配分していない全社費用2,016千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,110,420	4,387,370	13,497,790	2,392,799	15,890,590	-	15,890,590
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	20,864	23,391	44,255	340,509	384,764	384,764	-
計	9,131,284	4,410,761	13,542,046	2,733,309	16,275,355	384,764	15,890,590
セグメント利益	564,366	473,160	1,037,526	140,352	1,177,879	20,984	1,198,864

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額20,984千円は、セグメント間取引消去10,726千円、各報告セグメントに配分していない全社費用10,258千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	18円5銭	11円57銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,165,226	746,619
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,165,226	746,619
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,539	64,535

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月8日

サカイオーベックス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 芳明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 垂井 健 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサカイオーベックス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サカイオーベックス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。